2016年度　本試験　化学基礎　第1問　－　問7

必要があれば，原子量は次の値を使うこと。

　H　1.0　　　　C　12　　　　O　16　　　　Cu　64　　　　Sn　119

【問題】

　物質を分離する操作に関する記述として下線部が正しいものを，次の①～⑤のうちから一つ選べ。

①　溶媒に対する溶けやすさの差を利用して，混合物から特定の物質を溶媒にとかして分離する操作を抽出という。

②　沸点の差を利用して，液体の混合物から成分を分離する操作を昇華法（昇華）という。

③　固体と液体の混合物から，ろ紙などを用いて固体を分離する操作を再結晶という。

④　不純物を含む固体を溶媒に溶かし，温度によって溶解度が異なることを利用して，より純粋な物質を析出させ分離する操作をろ過という。

⑤　固体の混合物を加熱して，固体から直接気体になる成分を冷却して分離する操作を蒸留という。

2016年度　本試験　化学基礎　第1問　－　問7

【問題情報】

|  |  |
| --- | --- |
| **単元** | 分離法 |
| **配点** | 3点 |
| **計算問題** | × |
| **難易度** | 易しい |

【正解】

①　溶媒に対する溶けやすさの差を利用して，混合物から特定の物質を溶媒にとかして分離する操作を抽出という。

【解説】

②は昇華法（昇華）ではなく，分留です。

③は再結晶ではなく，ろ過です。

④はろ過ではなく，再結晶です。

⑤は蒸留ではなく，昇華法（昇華）です。

高校化学Net参考書　<http://ko-ko-kagaku.net/>